

外務省 予算監視・効率化チームの
上期(4～9月)活動状況について

平成22年11月16日

外務省

「予算執行計画」に基づく上期取組状況について(1)

1. チームリーダーによる上期取組総評

予算監視・効率化チームの取組により、**職員の「コスト意識」は確実に向上**しており、予算を如何にして効果的・効率的に使うかとの点につき職員の意識改革が進んでいる。

概算要求においては、行政事業レビューをはじめとする予算監視・効率化チームの取組を着実に反映させることにより、**既存予算の見直しを徹底し、優先度の高い案件への予算の組み替え**を行った。

下期においても、予算執行計画を着実に実施し、**引き続き予算執行の適切性や透明性の確保、効率性の向上**を図っていく。

2. 外部有識者による予算監視・効率化チームの取組へのコメント

◆ 青山 伸一(青山公認会計士事務所 公認会計士)

予算監視・効率化チームの取組により、職員の「コスト意識」は確実に向上している。今後もこの取組を継続すると同時に、過去に予算監視・効率化チームのレビュー対象となった事業についてのフォロー・アップの作業も着実に実施していく必要がある。

◆ 中里 実(東京大学大学院法学政治学研究教授)

副大臣、政務官の指示の下、すべての部局が真摯に対応し、それぞれが担当しているプロジェクトについて見直し、外部にもわかりやすく説明しようという意欲が感じられた。また、大臣官房会計課のロジが的確であった。そのために、行政事業レビューを行ったことそれ自体により、職員の意識はかなり改善されたように思われる。外交関係の業務には特殊なものも多いが、その特殊性についてどのようにしたらより明確に国民に説明できるかという点については、難しい問題であるが、もう少し工夫が必要かもしれない。

◆ 中谷 和弘(東京大学大学院法学政治学研究教授)

公開プロセスを含む行政事業レビューは行政の透明性を担保することに資するものであり、これらを通じて省員のコスト意識が大きく浸透・改善したと思われる。今後も適宜フォローアップをすることにより、納税者が十分納得できる行政活動を定着させ、推進していくことが望まれる。もっとも外交分野においては、表面的なコスト・パフォーマンスの観点からの評価にはなじまない主題も少なからず存在するため、いわゆる仕分けになじむ主題とそうでないものとの合理的な区別は必要であろう。会計課のロジは迅速・的確であったことを付言しておきたい。

◆ 宮本 和之(宮本公認会計士事務所 公認会計士)

行政事業レビューや公開プロセス等により、予算執行の適切性、透明性の確保、効率性の向上に向けた取り組みは成果を上げていると思われる。外務省の業務は国民生活に必要不可欠であるにも関わらず、その実態が十分に理解されていない面があるため、**改革の成果を国民に正確に理解してもらうことが重要**である。外務省HP上で予算執行に係る国民の声を受け付けることは、そのための効果的な一つの方法で、このことにより、一層の透明化が図られることが望まれる。

「予算執行計画」に基づく上期取組状況について(2)

3. 予算監視・効率化の推進体制

(1) チームリーダー :		伴野副大臣	
(2) サブリーダー :		徳永政務官	
(3) チーム事務局長 :		官房長	
(4) チームメンバー :		大臣官房総務課長、会計課長	
(5) 外部有識者 :			
	青山	伸一	青山公認会計士事務所
	中里	実	東京大学大学院法学政治学研究科教授 (財政法・租税法)
	中谷	和弘	東京大学大学院法学政治学研究科教授 (国際法)
	宮本	和之	宮本公認会計士事務所

4. 平成22年度予算執行計画の公表日と掲載場所

公表日: 4月9日(金)

http://www.mofa.go.jp/mofaj/annai/yosan_kessan/kanshi_kouritsuka/index.html

5. 予算監視・効率化チーム定例会合の開催状況

- ◆ 予算監視・効率化チーム定例会合: 第1回 4月9日(金)、第2回 8月26日(木)
- ◆ 行政事業レビュー会合: 4月16日(金)の第1回会合以来、計11回の行政事業レビュー会合を開催。
(※詳細については別添1参照。)

「予算執行計画」に基づく上期取組状況について(3)

6. 支出に関する計画の進捗管理

- (1) 計画立案対象経費：①庁費、情報処理業務庁費、在外公館連絡庁費、渡航事務庁費
②職員旅費、外国旅費
③補助金・委託費

- (2) 進捗管理の上期実施状況（別添2：上期進捗実績表）

四半期毎に支出予定額と支出実績額とを対比し、予算執行の進捗を管理することにより、**各部署における予算執行状況を従来以上に正確に把握できる体制が整備**された。また、支出予定額と支出実績額に差額が生じている予算科目については、個別に原因を分析し、支出計画の妥当性についての検証を行っている。

- (3) 開示の対応状況： 支出に関する計画及び支出状況については、外務省HP上で公表済み。

http://www.mofa.go.jp/mofaj/annai/yosan_kessan/kanshi_kouritsuka/index.html

7. 予算執行上の重要な決定等についての事前審査

- (1) 事前審査対象の範囲：① 外務省公益法人見直しタスクフォースにおいてヒアリング対象となった契約案件
② 外務省公益法人見直しタスクフォースにおいて見直し対象となった公益法人と平成21年度に契約を締結した案件
③ 補助金・委託費案件
④ 行政事業レビューにおいて平成22年度予算執行について特に注視する必要があるとされた案件

（ただし、執行に緊急を要する場合は予算監視・効率化チームに対する事後報告で可。）

- (2) 事前審査上期取組・状況コメント

上記(1)の①～④に該当する案件については、執行のタイミングで個別に事前審査を行い、必要に応じて外部有識者からの意見を併せて聴取している。少なくとも約40件の事前審査を実施済。

「予算執行計画」に基づく上期取組状況について(4)

8. 国民の声の受付・対応

- (1) 受付体制の整備状況： 外務省HP上にて、外務省の予算執行に係る国民の声を受け付ける体制を整備。
<http://www.mofa.go.jp/mofaj/comment/mail/kokuminnokoe.html>
- (2) 上期受付状況： 5件(ODA、在外公館施設等についての声を受付。)
- (3) 開示の対応状況： 国民からの声の状況(件数や主な内容)と、これらへの対応・改善結果等を取りまとめ、公表予定。

9. 予算執行の効率化等に向けた職員参画向上等の取組

外務省の省内LAN上にて、予算執行について職員の意見や提案を受け付ける体制を整備。引き続き、会計研修等を通じて、予算執行の意識向上を図る。

10. 予算要求への反映

平成23年度予算編成においては、無駄遣い根絶を徹底し、事業仕分け、行政事業レビュー等での指摘を適切に反映すると共に、在外公館施設に係る機能や経費のスリム化、外務省本省の施設費の削減等、外務省としての自主的な取組も精力的に行っている。

＜平成23年度概算要求における主な歳出削減努力＞

- (1) 事業仕分け第2弾の結果を踏まえた削減： ▲14億円(▲5%)
- (2) 行政事業レビュー(対象は計705事業)の結果を踏まえた削減： ▲435億円(▲9%)
(うち行政事業レビュー・公開プロセスの結果を踏まえた削減は▲389億円)
詳しくは、http://www.mofa.go.jp/mofaj/annai/yosan_kessan/kanshi_kouritsuka/gyosei_review.html参照。
- (3) 20年以上経過した事務事業に係る削減： ▲373億円(▲14%)
- (4) 独立行政法人向け交付金の削減： ▲188億円(▲12%)
- (5) 公益法人向け補助金・委託費の削減： ▲4億円(▲12%)
- (6) 庁費等・委託費・施設費の削減： ▲124億円(▲17%)

※いずれも対平成22年度当初予算比。

※上記(1)～(6)の削減については一部重複あり。

「予算執行計画」に基づく上期取組状況について(5)

11. その他の取組

- ◆ 行政事業レビューシートを概算要求用資料としてそのまま活用することにより、レビュー結果、執行状況が確実に予算要求に反映できる体制を整備。
- ◆ **予算の支出先や用途等について十分な実態把握できる程度に案件を細分化(外務省全体で計705件)した上で、全部局を対象としたレビューを実施。**このことより、予算執行にあたる担当部局自らがより積極的に効果的・効率的な予算執行に取り組むようになっており、確実に意識改革が進んでいる。

12. 予算執行計画を含む、予算監視・効率化の取組全体の自己評価

- ◆ 行政事業レビューをはじめ、予算執行計画に定めた取組を着実に実施することにより、実効的な成果があがっていると言える。職員の「コスト意識」が向上し、各担当部局において予算監視・効率化に向けた取組が自発的に生まれる環境を目指し、取組を続けていくことが重要。
- ◆ 第1四半期分の予算監視・効率化チームの取組についての自己評価については、外務省HPIにて公表済み。

「予算執行の情報開示充実に関する指針」に基づく開示状況について

「予算執行の情報開示充実に関する指針(平成22年3月31日 内閣官房国家戦略室)」に盛り込まれた事項にかかる開示状況については、以下の通り。

指針事項	開示の対応状況
1. 予算執行情報開示に関する一元的なアクセスポイントの創設	http://www.mofa.go.jp/mofaj/annai/yosan_kessan/kanshi_kouritsuka/index.html
2. 予算執行状況の継続的な開示	第2四半期分までの①組織・項別の毎月の支出状況、②庁費、旅費の目ベースでの支出状況を外務省HPにて公表済み。 ①随意契約見直し計画の改訂版、②見直し後も競争性のない随意契約として残さざるをえない契約案件の概要一覧については今後公表予定。
3. 予算執行に関する意思決定の情報開示	(1) 公共調達に関する情報開示: 9月分まで外務省HPにて公表済み。 (2) 公共事業等に関する情報開示: 9月分まで外務省HPにて公表済み。 (3) 補助金に関する情報開示: 第2四半期分まで外務省HPにて公表済み。
4. 予算の支出目的に着目した情報開示	(1) 委託調査費: 第2四半期分まで外務省HPにて公表済み。 (2) タクシー代: 第2四半期分まで外務省HPにて公表済み。

予算監視・効率化チームの上期活動状況

別添1

- 4月9日(金) 予算監視・効率化チーム第一回会合
- ① 予算監視・効率化チームの構成
 - ② 予算監視・効率化チームの取組み計画
 - ③ 行政事業レビューの取り進め方
 - ④ 外務省独立行政法人・公益法人見直しタスクフォースによる取りまとめ報告

- 4月16日(金) 行政事業レビュー第一回会合
- ① 招へい
 - ② 在勤手当
 - ③ 無償資金協力・技術協力

- 4月20日(火) 行政事業レビュー第二回会合
- ① 国際交流基金
 - ② 旅費
 - ③ 領事局

- 4月22日(木) 行政事業レビュー第三回会合
- ① 国際交流基金
 - ② 行政事業レビューの今後の進め方に係る検討

- 4月27日(火) 行政事業レビュー第四回会合
- ① 任意拠出金
 - ② 在外公館施設
 - ③ 広報文化交流部(除く文化交流課)
 - ④ 公開プロセス対象事業についての検討

- 5月11日(火) 行政事業レビュー第五回会合
- ① 広報文化交流部文化交流課
 - ② アジア大洋州局、南部アジア部
 - ③ 外務報道官組織

- 5月14日(金) 行政事業レビュー第六回会合
- 無償資金協力・技術協力

- 5月18日(火) 行政事業レビュー第七回会合
- ① 総合外交政策局、軍縮不拡散・科学部
 - ② 経済局
 - ③ 国際情報統括官組織
 - ④ 国際法局

- 5月21日(金) 行政事業レビュー第八回会合
- ① 欧州局
 - ② 中東アフリカ局、アフリカ審議官組織
 - ③ 中南米局

- 6月1日(火) 行政事業レビュー第九回会合
- ① 北米局
 - ② 公開プロセス対象事業の事前ヒアリング

- 6月8日(火) 行政事業レビュー第十回会合
- 公開プロセス対象事業の事前ヒアリング

- 6月11日(金) 行政事業レビュー第十一回会合
- 公開プロセス対象事業の事前ヒアリング

- 6月14日(月)、15日(火) 行政事業レビュー・公開プロセス

- 8月26日(木) 予算監視・効率化チーム第二回会合
- ① 予算監視・効率化チームの構成
 - ② 平成23年度概算要求